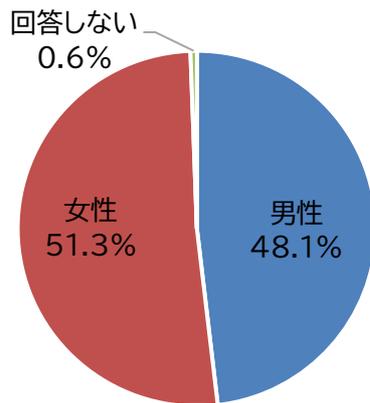


令和7年度 とよはしインターネットモニターアンケート調査結果

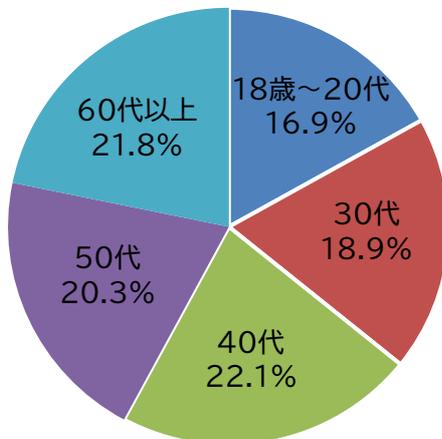
テーマ	「持続可能なまちづくり（人口減少対策）についてのアンケート調査」
調査期間	令和7年9月1日（月）～令和7年9月15日（月）
回答者数	349人
対象モニター数	400人
回答率	87.3%

※ 百分率の値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、割合の合計が100%にならない場合があります。

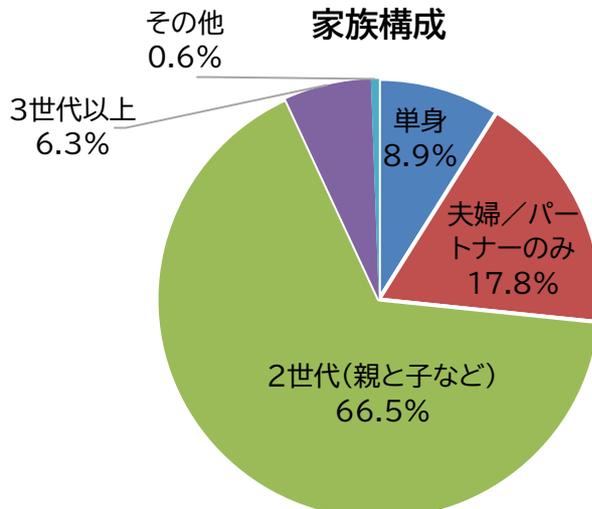
性別



年代



家族構成



概 要

豊橋市に住む一人ひとりがわがまちに愛着を持ち「住み続けたい、また戻ってきたい」と思えるまちづくりを進めるため、インターネットモニターへのアンケートを実施し、豊橋市の「暮らしやすさ」について市民意見を調査しました。

以下では、「思う」あるいは「どちらかといえばそう思う」を「好意的な回答」、「思わない」あるいは「どちらかといえばそう思わない」を「批判的な回答」として整理しました。

1. 子ども・若者が心豊かに成長できる環境があるかについて

「思う」あるいは「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合は 76.2%でした。そのうち「どちらかといえばそう思う」と答えた市民の割合は 59.9%となっており、概ね好意的に受け止められていることが見受けられました。

2. ワーク・ライフ・バランスが実現できるかについて

「思う」あるいは「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合は 64.7%でした。一方で「思わない」あるいは「どちらかといえば思わない」と回答した市民も 35.3%おり、まだワーク・ライフ・バランスが実現できていないと感じる市民が多くいることが見受けられました。

3. 有意義な時間を過ごすことのできる公共施設がたくさんあるかについて

「思う」あるいは「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合は 53%でした。問3については、「好意的な回答」と「批判的な回答」がほぼ同じ割合となっており、有意義な時間を過ごすことのできる公共施設がないと感じている市民が多くいることが見受けられました。

4. 安全で安心できる生活環境が整っているかについて

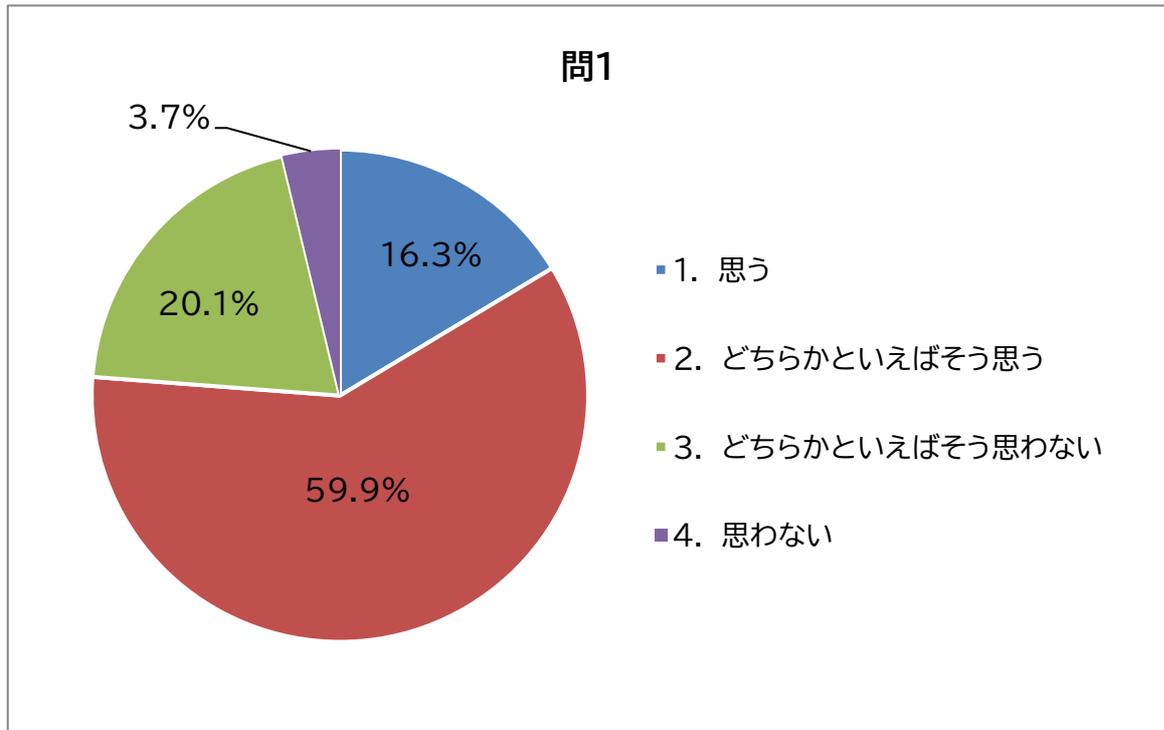
「思う」あるいは「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合は 76.2%でした。そのうち「どちらかといえばそう思う」と答えた市民の割合は 63.9%となっており、概ね好意的に受け止められていることが見受けられました。

5. 豊橋市はあなたにとって住み続けたい・また戻ってきたいまちかについて

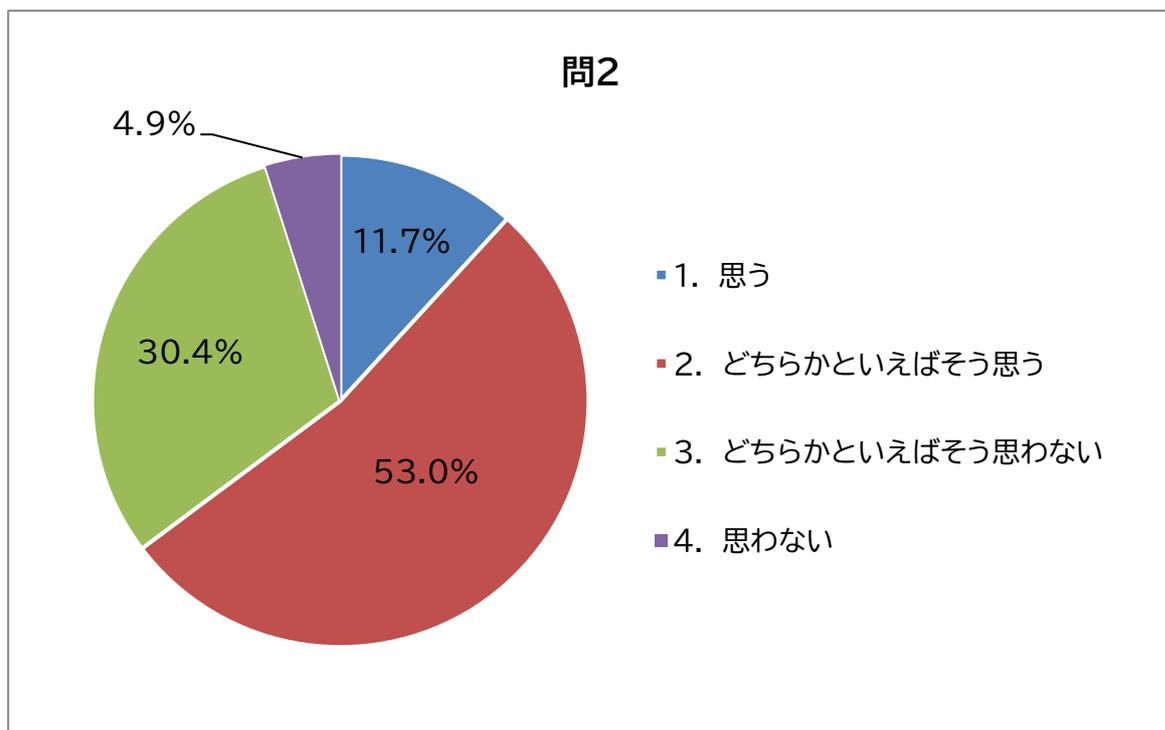
「そう思う」あるいは「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合は 83.1%でした。5つの問に対して、うち、「そう思う」と回答した市民の割合が 39.3%の4割を占めており、好意的に受け止めている市民が多いことが見受けられました。

豊橋市の「暮らしやすさ」について、以下の【問1】～【問4】に記載する項目に関し、あなたはどのように思いますか。【あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択】

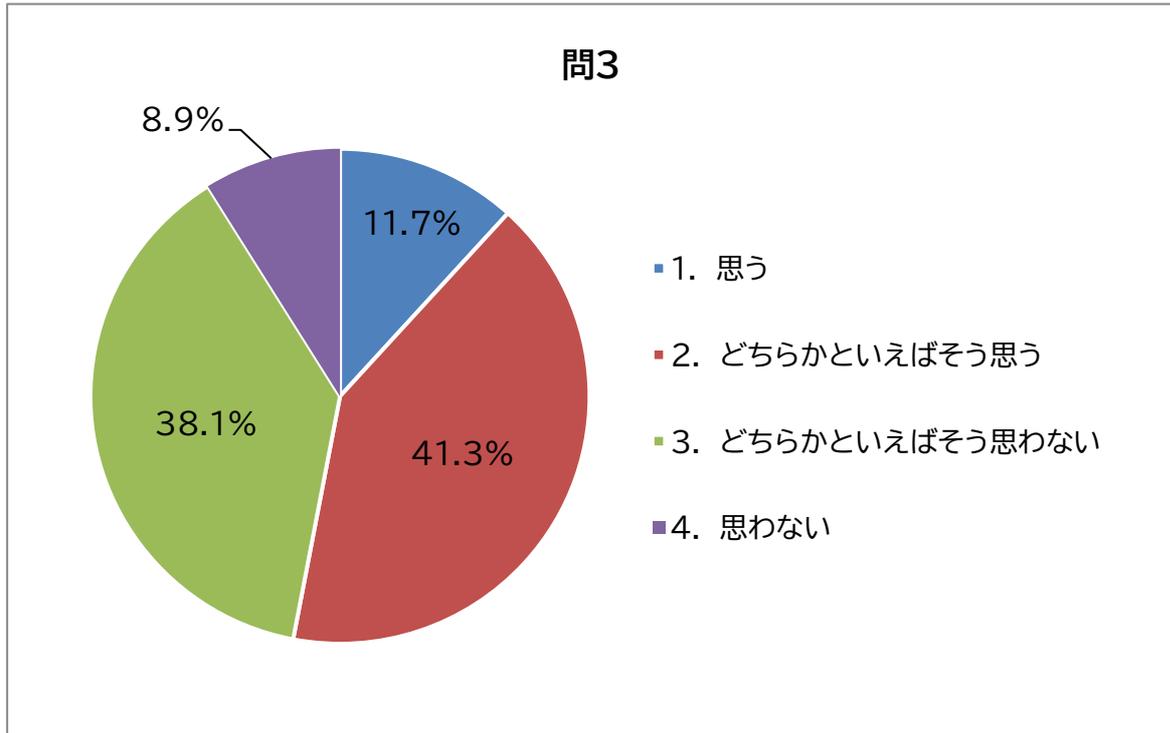
【問1】 子ども・若者が心豊かに成長できる環境がある。(n=349)



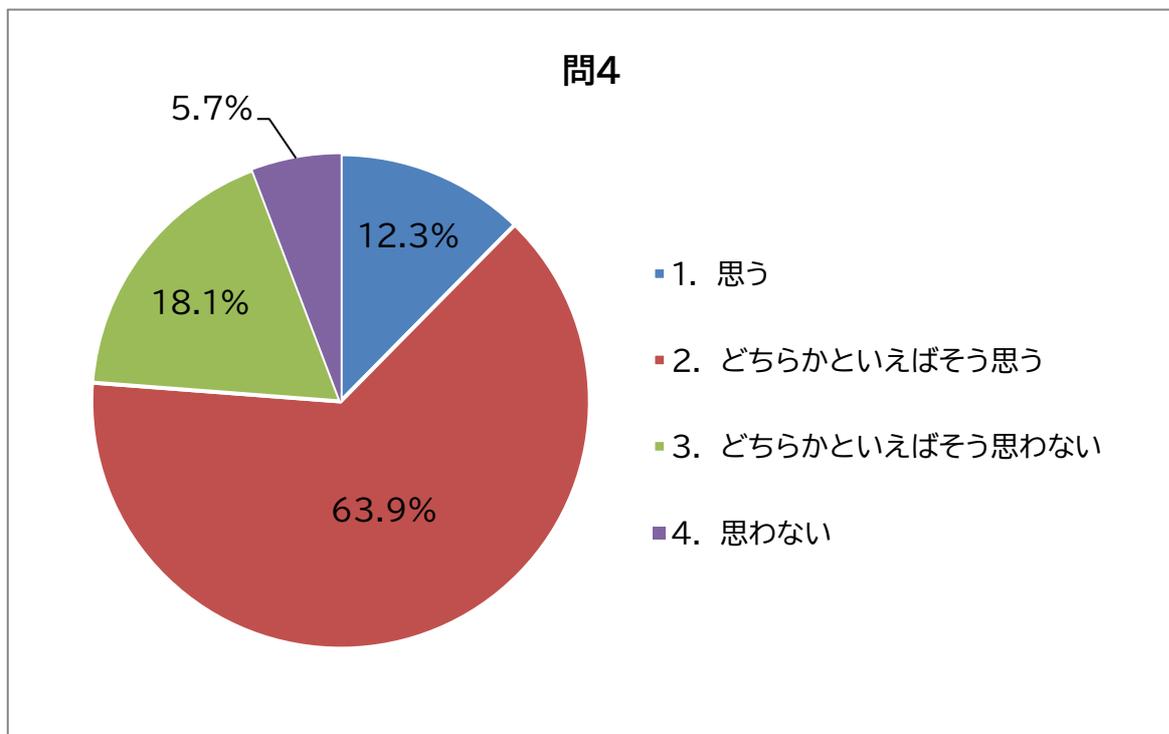
【問2】 ワーク・ライフ・バランスが実現できる。(n=349)



【問3】 有意義な時間を過ごすことのできる公共施設がたくさんある。(n=349)



【問4】 安全で安心できる生活環境が整っている。(n=349)



【問5】 豊橋市はあなたにとって住み続けたい・また戻ってきたいまちですか。
【あてはまるものを1つ選択】（n=349）

